

## 南ユタ大学短期プログラムに参加して

函館校 地域協働専攻国際協働グループ3年 五十嵐祐子

平成28年9月5日～9月22日の約3週間、夏休み期間を利用して、アメリカの南ユタ大学短期留学プログラムへ参加してきました。もともとアメリカの文化と日本文化の違いについて興味があったのですが、昨年このプログラムに参加した友人に薦められたことが参加するきっかけとなりました。また、帰国後に国際コミュニケーション短期研修の講義を履修し、レポートを提出すれば単位が認定されることも動機のひとつでした。このプログラム期間中に経験したことを以下、いくつかの項目に分けて報告します。

### 【 出発までの準備 】

南ユタへ行くまでの準備として、大学の学務グループへ提出しなければならない書類や、インターネットを使用する申請作業、自分で銀行や郵便局へ赴いて書類を記入したりお金を振り込んだりなど、たくさんの作業がありました。これらの作業は大学学務グループから指示していただきましたが、ユタへ渡航する直前の指示でしたので申し込みなどあたふたしていたことが多くありました。ですから、もう少し余裕を持って行動するためにも、早めの指示をお願いしたいなと感じました。

出発日は8月31日でしたが、前日に函館に台風が到来していて、JRが夕方まで運休、ちょうど良い時間帯のバスもなく、飛行機もないという状態でした。私の場合は知人に函館駅から車で新千歳空港まで送っていただいて、なんとか集合時間に間に合うことができましたがかなりあたふたしてしまったので、前日に札幌や新千歳空港付近で宿をとっておくことをお勧めします。



### 【 シーダーシティの気候 】

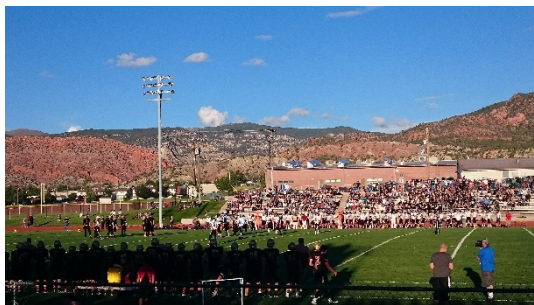
昨年の参加者からは暑いから一日中半袖短パンで過ごせると聞いていたのでそのつもりでいきましたが、実際に過ごしてみると、日本に比べ湿気が少なくカラッとしていて過ごしやすかったのですが、9月の後半になるにつれて気温はだんだん寒くなってきて、とても半袖だけでは過ごせませんでした。朝夕と昼の温度差が激しいことと、大学やスーパーなどは冷

房が効いていて寒い为上着は必須でした。また、ひどく乾燥しているので、ボディクリームやオロナイン軟膏なども持っていくと良いと思います。毎年ユタの気候も変化しているようなので、事前に南ユタの気候について情報を調べておくのが良いと思いました。

### 【 ホームステイ生活 】

はじめに、ユタに行くまでわたしたちはステイ先がどこなのか、誰と同じステイ先なのかなどの情報が全くなかったためとても不安でした。ですから、来年以降は事前に情報提供があればよいと感じました。

わたしのステイ先は、両親と4人の兄弟がいる大家族でした。また、韓国の留学生も同じステイ先にいたため、英語で会話をする機会が多くとても良い経験ができました。またお父さんと男の子たちはアメリカンフットボールが大好きで、最初の休日には家族みんなでアメフトの試合観戦へ行きました。家族や親戚同士、町内の関わりが深く、休日には祖父母や両親の兄弟や従兄弟など様々な人たちが家に遊びに来ていたため、多くの人と関わることができました。また、家族はユタに住む7割の人が信仰しているというモルモン教を信仰していたため、毎週日曜日には早朝からお昼頃まで教会でお祈りをすることや、コーヒー・お茶・タバコ・お酒は禁止など様々な決まりを守って生活していました。



### 【 プログラムの内容 】

ユタ大学では、大学の先生や外部講師の方がわたしたち日本人留学生の授業を担当してくれました。韓国の留学生の方々にもとてもお世話になりました。プログラムの内容としては、小学校に赴いて小学生へ日本文化をプレゼンすること、韓国人留学生とのディスカッション、ユタ大学の学生に向けて日本の職業についてプレゼンなどがありました。大学の中では、主に韓国の留学生と関わるが多かったのですが、中国からの留学生や、ユタ大学の学生とも関わることができました。また、大学ではたくさんのイベントが行われていて、特にミスター・ミス SUU (Southern Utah University) を決めるイベントが印象的でした。



### [ 最後に ]

このプログラムに参加してみて、アメリカ文化の良さを感じるとともに、改めて日本文化の良さを実感しました。そして、南ユタ大学に通う中で、アメリカの学生、韓国の学生、中国の学生たちと触れ合い、様々な事柄について会話をしてみて、国際交流の大切さ、様々な考え方・価値観があることも学びました。これらの経験はわたしの今後の生活に必ず役立つであろうと思います。また、ひそかに目標としていた自分の英会話力の向上も実感することができ、参加して本当に良かったと思います。